

地域の魅力再確認を

観光テーマ 知事と住民懇談

町 日 六

平山征夫知事と住民が南魚の将来像について意見を交わす懇談会「知事と語るむらおこし・まちづくり」が八日、県六日町地域振興局事務所で開催

かされた。パネルディスカッション形式で四人が観光・交流面での活性化策を提言した。

観光・交流の促進」をテーマに旅館・ホテル関係者やグリーン・ツーリズム（体験交流型観光）に力を入れる若手らがパネリストを務めた。

塩沢町で農業体験民宿を経営する中沢明子さんは「リピーターの確保には、コシヒカリや酒のおいしさを感じさせる演出が必要。生産者や住民との連携を深め、地域の魅力を再確認することから始めたい」と決意を述べた。しおざわ異業種研究会の宮田俊之さんは「リ

ゾートマンションの空き部屋を借り上げたり、地域通貨の導入を」と提言した。平山知事は「南魚は交通が発達している地の利を生かした交流・定住人口の増加が課題。町村間、関係者間が連携して具体的な行動計画を立ててほしい」と話した。